

p.21 彩度の違いによる顔の見え方

「彩度が顔の見え方に与える影響」の表の「個別心理」の一番下

&lt;彩度が高い&gt;

&lt;彩度が低い&gt;

訂正前) 安っぽいイメージ

高級なイメージ



訂正後) 目鼻立ちがはっきりする

目鼻立ちがソフトに見える

p.30 冒頭 緑色の太字 1行目

訂正前) マンセル表色系は、1905年に・・・



訂正後) マンセル表色系 (マンセルシステム) は、1905年に・・・

p.31 ページ下「マンセル色相環」の説明文を以下へ差し替え

基本 10 色相 R~RP に 1~10 の番号を付けて計 100 色相を表します。各色相は時計回りに数字が大きくなるように配置され、1R は青み寄りの赤、10R は黄み寄りの赤というように同じ色相記号の中で、数字により色みの違いを表します。上図は中心色相 (5 番の色相) と 10 番の色相で 20 色相環を構成し、外側に 100 色相環の一部 (1Y~10GY) を参考に表示しています。色相記号 (R~RP) には色名のイメージと合致しないものもあり、B の中心色相の 5B は「青」というより「シアン:緑みの青」に該当し、パーソナルカラーで 5B はイエローベースの青、5PB はブルーベースの青に分類されます。ちなみに色相環で向かい合う色同士は、ほぼ補色関係です。

p.45 ①分光分布 ●分光分布とは 本文3行目

訂正前) グラフの縦軸は光の強さ (比エネルギー) を表し、横軸は波長の違いを表しています。



訂正後) グラフの縦軸は光の強さ (エネルギーの比率) を表し、横軸は波長の長さを表しています。

p.45 ①分光分布 ●蛍光灯 本文4行目

訂正前) (右は、三波長型蛍光灯の分光分布です)



訂正後) (右は、三波長型蛍光灯:白色の分光分布です)

p.46 ②色温度と光色 ●色温度とは 本文6行目 6,500 K → 約 6500 K

p.47 ④演色性 ●演色性とは 本文下 約 6,500 K → 約 6500 K

●LED 照明の特徴 本文下 約 6,500 K → 約 6500 K

p.47 CHECK ●色温度: 約 6,500K~5,000 K → 約 6500 K ~ 5000 K

&lt;訂正内容&gt;上記4ヶ所の 色温度 K の数値表記について、千単位の「,」カンマ記号を削除

p.47 ③照度 [JIS の推奨照度の例] の表内 100,000 lx → 100000 lx

2,000 lx → 2000 lx

1,000 lx → 1000 lx

p.47 CHECK ●照度: 1,000 lx ~ 2,000 lx → 1000 lx ~ 2000 lx

&lt;訂正内容&gt;上記2ヶ所の 照度 lx の数値表記について、千単位の「,」カンマ記号を削除

p.66 フォーシーズン分類の特徴

●2つのシーズンのどちらに分類されてもよい色がある 本文2行目

訂正前) **場合があります。色はグラデーションですから、・・・**



訂正後) **場合があります。色はグラデーションに連なっていて、・・・**

p.68 「春」の主な属性とイメージ 右下

「表現しやすいスタンダードなイメージ」の表 上から2行目、左から2段目

p.77 「夏のコーディネート」 中央部 <アレンジ>の一番下の行

<訂正内容>上記2ヶ所について以下の通り、誤字を訂正

訂正前) **スポーティ**



訂正後) **スポーティー**

p.74 「冬」の主な属性とイメージ 左下

「属性」の表の 上から3行目、彩度の属性

訂正前) **高～低彩度**



訂正後) **高・低彩度**

p.82 「パーソナルカラー分析診断の準備」

①適切な診断ができるよう、環境を整える の表の1段目「照明光」の2行目

訂正前) **部屋の照度は 1,000 lx 以上**



訂正後) **部屋の照度は 1000 lx～2000 lx**

<訂正内容>上記の 照度 lx の数値表記について、千単位の「,」カンマ記号を削除と共に、数値を訂正。

p.87 「フォーシーズン分類と属性の関係」 を【参考資料】へ変更